



SASAYAMA public elementary school

# 学校だより

自分大好き、友だち大好き 進め！笹山の子

平成30年 10月31日発行

平成30年度 第8号

横浜市立笹山小学校

TEL 382-1161 FAX 381-7384

## 日常的な異学年交流

副校長 坂井 敦

記録的な猛暑、残暑から、すっかり秋が深まり、過ごしやすい日々が続いています。

10月に入ってから学校では、校外学習が目白押しでした。2日、3日には4・5年生が、御殿場宿泊体験学習に出かけ、12日には、1・2・3年生が、油壺マリンパークになかよし遠足に出かけてきました。そして、6年生は、市の体育大会や日光修学旅行を終えたばかりです。それぞれの学年で予定された活動を行い、子どもたちが成長した様子をうかがえ、嬉しく思っているところです。

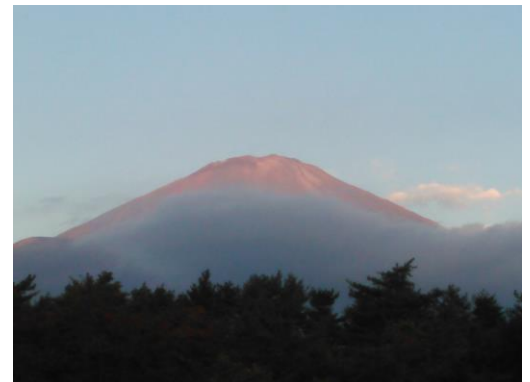
本校の特色として、年間を通して、異学年でのなかよしグループで、多くの活動を行っていることがあります。ササリンピックや地域清掃では、グループで協力して活動をしてきました。そして校外学習でも、このグループで活動をしています。本校に着任したときに感じたアットホームな雰囲気は、このなかよしグループでの活動が元になっているのだと思います。

着任して3年目となり、その姿が当たり前になっていました。御殿場の国立青少年交流の家での退所式の際、私は、5年生には、リーダーシップを褒め、4年生には、「来年度はこの経験を活かして、今の3年生をリードしてください。」という話をしました。次に交流の家の方からの話を聞き、はっとしました。それは、「毎年何百校もここを利用していますが、笹山小学校のように異学年と一緒に活動をしている学校は、他にはありません。つまりあなたたちは、他の学校では得られない貴重な経験を当たり前のように積み重ねてきているのです。とても素晴らしいことです。ですから、この経験をこれからも生かして行ってください。」という話をいただいたのです。異学年の子どもが協力して、薪に火をつける姿を昨年も見ていたのですが、それを当たり前と思うようになっていました。しかし、他校では得られない貴重な経験を子どもたちは自然に積み重ねていることに改めて気づき、嬉しくなりました。

1・2・3年生のなかよし遠足でも、3年生が、なかよしグループをリードして準備をしたり、マリンパーク内を巡ったりしていました。他校の遠足では、クラスの中で協力しながら見学をしていますが、本校では、見学しながら異学年交流を行い、上級生のこれまでの姿を見てきた3年生がリーダーシップを発揮していました。この姿が次の学年に引き継がれていくというサイクルが、本校のアットホームな雰囲気を作っているのだと実感し、また嬉しくなりました。

さて、11月10日（土）に、大きな行事であるミュージックフェスティバルがあります。ここでも、学年の枠を超え、異学年や全校での歌や演奏があります。15日（木）には、区の音楽会に今年も3・4・5年生が出演しますが（これも特色の一つです）、その時の曲も当日に発表します。今年もこれまでの練習の成果を発揮し、みんなで力を合わせた発表から、子どもたちの成長の様子が分かるかと思えます。ご多用の中とは存じますが、ぜひ体育館に足をお運びいただけたら幸いです。

今月もご理解とご協力をよろしくお願ひします。



【早起きをした子と見た朝の富士山】